

中小企業振興資金特別会計

中期見通し

(令和6年度～令和9年度)

沖縄県商工労働部中小企業支援課

中小企業振興資金特別会計 中期見通し

1. 策定の趣旨、推計期間

(1) 趣旨

令和6年度当初予算を基礎として、一定の仮定の下で試算した今後の中小企業振興資金特別会計（以下「本特別会計」という。）の傾向（トレンド）を示すもので、一般に公表することにより、本会計に対する理解を深めていただくことを目的としています。

(2) 推計期間

令和6年度～令和9年度（4年間）

※ 推計期間中の各年度の数値は、今後の経済情勢等により変動します。

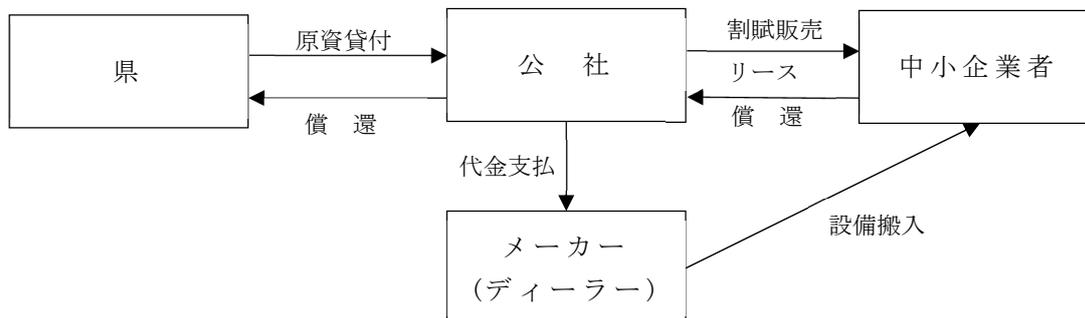
2. 事業の目的、概要、現状等

(1) 目的

本特別会計は、公益財団法人沖縄県産業振興公社（以下「公社」）に対して、公社が実施する機械類貸与制度の原資の貸付事業を行っています。

機械類貸与制度は、県単独事業として昭和58年度に創設されたもので、これまでに多くの県内中小企業者の経営基盤強化、近代化及び合理化に貢献しています。

(2) 概要



[公社の貸与条件]（令和6年度）

対象者 県内の創業者、中小企業者で、対象業種（製造業、建設業、鉱業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食業、サービス業）に属すること（一部対象外あり）。

貸与金額 300万円～8,000万円（特別な場合1億円まで）

対象設備 新品

利率（固定） 割賦販売 1.7%～2.1%（財務状況に応じて決定）
リース 公社へご確認ください。

貸与期間 割賦販売 10年以内（元金据置期間1年、6ヶ月、なし）
リース 3年～10年

保証金・保証人 詳細は公社へご確認ください。

(3) 現状等

ア 歳入の状況（決算）

本特別会計の歳入は、過去の貸付金に係る公社からの約定償還である貸付金元利収入と、前年度の剰余金である繰越金を合計したものとなっております。

(単位：千円)

歳入科目名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸付金元利収入	214,787	205,666	217,484	170,155
繰越金	732,797	678,205	558,239	579,518
貸付金繰入金	0	0	0	0
計	947,584	883,871	775,723	749,673

イ 歳出の状況（決算）

本特別会計の歳出は、公社に対する貸付金と、貸付金貸付事務に要する運営費となっております。

(単位：千円)

歳出科目名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸付金	269,249	325,500	196,073	276,723
運営費	130	132	132	117
繰出金	0	0	0	0
計	269,379	325,632	196,205	276,840

ウ 機械類貸与制度の実績

(単位：件、千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
機械類貸与件数	12	17	11	21
機械類貸与金額	269,249	325,500	196,073	276,723

3. 歳入の見通し

貸付金元利収入は、公社への過去の貸付金に係る公社からの約定償還によるものであり、年度毎の貸付実績に応じて償還額に変動が生じるが、仮に成果目標を達成した場合、令和6年度以降は増加する見込みです。

繰越金については、毎年剰余金を次年度に繰り越すことで将来の貸付金を確保する運用を行っていましたが、仮に成果目標を達成した場合、歳入残である剰余分が減少することから、令和9年度以降0円となる見込みです。

一方、包括外部監査の指摘等もあり、すぐに貸付財源として使用しない繰越金を平成30年度に一般会計へ繰り出したことから、仮に成果目標を達成した場合、令和8年度以降においては、必要額について、一般会計からの貸付金繰入金が必要となる見通しとなっております。

(単位：千円)

歳入科目名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
貸付金元利収入	142,199	156,767	187,514	226,402
繰越金	472,833	264,897	71,529	0
貸付金繰入金	0	0	91,092	123,733
計	615,032	421,664	350,135	350,135

4. 歳出の見通し

貸付金は、機械類貸与制度を実施する公社に対する貸付原資を内容としています。
運営費は、県で本事業を運営するための経費等を内容としています。

平成15年度から令和5年度までの公社における平均の年間貸付金額は332,554千円であることから、貸付金は令和6年度で3億5千万円を見込んでおり、令和7年度以降も3億5千万円を想定しています。

(単位：千円)

歳出科目名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
貸付金	350,000	350,000	350,000	350,000
運営費	135	135	135	135
繰出金	0	0	0	0
計	350,135	350,135	350,135	350,135

5. 収支の見通し

中期見通しの期間中、歳出を見込み通りに全額執行した場合、収支差額は令和7年度までプラスの状態を維持することができますが、令和8年度以降は収支不足となる見通しです。

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
歳入	615,032	421,664	259,043	226,042
歳出	350,135	350,135	350,135	350,135
収支差額	264,897	71,529	▲91,092	▲123,733

6. 今後の対応策

本特別会計では、収入未済は発生しておりません。

引き続き公社と連携を図り、貸付金の全額回収に努めます。

本特別会計では、平成30年度に一般会計へ繰り出しを行うなど、余剰金への配慮を行っていることもあり、令和7年度までは一般会計からの繰入は予定しておりませんが、

仮に成果目標を達成した場合、令和8年度以降においては、一般会計からの繰入が必要となる見通しです。

7. 成果目標

中期見通し期間中の機械類貸与制度における成果目標は、公社から中小企業者への貸付額として3億5千万円と設定しています。

(単位：千円)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
350,000	350,000	350,000	350,000